

第3号議案 2022年度事業計画に関する件

1. 活動計画

ふじのくに未来財団の助成「富士山西麓のシカの棲める森づくり活動」などを活用して、以下の事業を実施する。

1) シカの資源活用

①ロクジョウに関する調査（分析および市場調査等）の継続

②富士宮特産品開発プロジェクトとして、シカ肉加工品、シカ革製品などの開発・普及

2) シカエコツアー・皮なめし・革細工実習・展示会など教育・普及活動の実施

①シカ革製品作りプロジェクトの実施（国産シカ革を使った作家による製品作成と展示）

②ワークショップ（富士宮、熱海、京都、東京で合計6回）、シンポジウム（「縄文時代の鹿と森」9月3、4日港区立エコプラザ）などの開催

③ワークショップ、シカ展を各地域で実施するため、会員による企画・実施に協会が財政も含めた支援を行う制度を立ち上げ、実施する。

3) 森林整備活動

6月から3月まで毎月1回、富士山西麓において、シカの棲める森作り活動として、富士山クラブなどと協働して実施する。

4) その他

注：新型コロナウイルスの影響により、大幅に変更する場合があります。

2. 総会・理事会の開催

6月に郵送・メールによる理事会（オンライン併用）・総会を開催予定

3. 普及啓発

1) 日本鹿研究第13号の発行を6月に予定。オンライン版のみにすることも検討。

2) 鹿ニュースの定期的な会員への配信（月2回から3回配信に変更）

4. 国際交流・調査・研修

コロナの状況により第8回世界鹿大会（スロバキア）に参加し、交際交流を図る。

オンラインなどを用いた海外との交流事業を試行する。

5. 組織整備

1) 幹事会、事務局会議の定期的な開催（オンライン会議も含め）

- 2) 事業担当制による各理事・事務局員の責任分担制の推進
- 3) 外部資金の獲得による財政体制の強化

6. ホームページ・フェイスブックの更新を行う。